

ゆうちょ銀行が不正送金対策として MITB 攻撃対策を搭載した「PhishWall」を採用

セキュアブレインは、ゆうちょ銀行（本社：東京都千代田区）が、同行のインターネット・バンキングを利用するお客様を不正送金の被害から守る対策として、MITB（マン・イン・ザ・ブラウザ）攻撃対策を搭載した同社の「PhishWallプレミアム」を採用し、本年8月19日よりサービスを開始することを発表した。

インターネット・バンキングのユーザーを狙ったMITB攻撃は、数年前より欧米を中心に被害が拡大しているが、昨年日本の金融機関のユーザーがMITB攻撃により、不正に預金を送金されるという事件を受け、各金融機関は、MITB攻撃対策が急務な事案になっている。MITB攻撃は、PCに感染したウイルスが、インターネット・バンキングサイトへアクセスした際に通信をハッキングし、偽のポップアップ画面を表示する。偽のポップアップ画面は、正規のサイト上で表示されるため、偽物と見抜くことが困難だ。

従来のインターネットを利用した情報詐取対策は、偽のウェブサイト誘導する手口のため、正規サーバが偽サーバかを判定できることが重要だった。しかし、MITB攻撃はサーバ側でなくPC側への攻撃であるため、これからの情報詐取対策は、サーバ側とPC側の両方に問題がないことを確認することが重要だ。

「PhishWallプレミアム」は、偽サイト誘導対策とMITB攻撃対策の両方に対応したフィッシング対策ソリューションだ。PhishWallクライアントをインストールしたPCが「PhishWallプレミアム」導入企業のウェブサイトへアクセスした時に、ブラウザに緑のシグナルを点灯させることで、ひと目でアクセスしているウェブサイトが本物であることが確認できる。また、真正なサイ

トの認証と同時に、PCがMITB攻撃型ウイルスに感染していないかをチェックする。感染の徴候を検知した場合は、警告メッセージを表示して不正な画面への入力を防ぐ。さらに、検知したMITB攻撃型ウイルスを無効化する機能が搭載されている。PCがMITB攻撃型ウイルスに感染している場合でもウイルスを無効化することで、MITB攻撃を受ける危険な状態を回避することができる。

セキュアブレインは、安全性向上のためのソリューション提供を積極的に推進し、「PhishWallプレミアム」を金融機関向けフィッシング対策の標準ソリューションにしたいと考えている。

◆「PhishWallプレミアム」の特長

「PhishWallプレミアム」は、「偽サイト誘導対策（真正なウェブサイトであることを証明）」、「MITB攻撃対策」、「ウェブサイト改ざん対策（ウェブ解析サービスを提供）」、「マルウェア対策（アンチウイルスを提供）」の4つの対策でサーバ側とPC側の両方を保護する総合フィッシング対策ソリューション。導入には専用サーバは不要で、既存のウェブサーバに認証ファイルを置くだけ。インターネット・バンキングのプログラムを変更する必要がなく、短期間での稼働が可能だ。

セキュアブレイン E-mail : info@securebrain.co.jp